

吹奏楽部の活動に係るガイドライン

(令和4年5月27日改訂)

令和4年5月27日
奈良県教育委員会
奈良県吹奏楽連盟

[はじめに]

県内中・高等学校等の吹奏楽部の活動における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策等については、令和3年4月28日に示した「吹奏楽部の活動に係るガイドライン」の内容に基づき、各校の取組を進めていただいています。

新型コロナウイルス感染症については、新規の感染者における10代の割合の増加傾向などが続くなど、引き続き警戒が必要な状況にあります。吹奏楽部の練習は、限られた空間の中で、多くの人が息を使って行う活動であり、特別な注意が必要です。また、休憩時間等、演奏以外の時にも、感染拡大の可能性が強く懸念されます。このことについて、一人一人が感染予防について、正しく把握し、慎重な行動をとることが大切です。

令和4年度を迎え、これまでの内容を踏まえた上で、追記事項を含めて内容を改めました。このガイドラインを参考に、引き続き感染症対策に努めていただきますようお願いいたします。

1 部活動運営の指針

- ◎部活動への参加は、生徒や保護者の意向を尊重し、参加を強制しない。
- ◎卒業生など、生徒以外の部活動の参加については、十分に検討した上で対応する。
- ◎生徒の健康・安全の確保のため、生徒だけに任せるのではなく、顧問・指導者が立ち合い、活動状況を確認する。
- ◎活動時間や休養日については、「奈良県部活動の在り方に関する方針」（令和2年4月、奈良県・奈良県教育委員会）に準拠する。
- ◎短時間で効果を上げる合理的な練習方法を工夫し、感染防止に配慮した活動の運営に努める。
- ◎このガイドラインに示した内容を参考に、各学校の事情に即した部員向けのわかりやすいマニュアルを作成し、周知、徹底する。

2 部員の健康管理・練習参加について

- ◎発熱時および体調不良の場合は絶対に登校しない（させない）。
- ◎同居家族に発熱等の症状がある生徒は、同居家族の症状がなくなるまでの間、もしくは同居家族が医療機関を受診し感染の有無が判明するまでの間、練習に参加しない（させない）。
- ◎部活動開始前にも検温を行い、記録する。
- ◎こまめな手洗い（手指の消毒）を心がける。
 - ・活動開始・終了時、食事の前後、トイレの使用時等に、石けんで20秒以上の丁寧な手洗いや、アルコール消毒液による手指の消毒を励行する。
 - ・出入口等、各所に手指消毒液を設置し、使用を促す。

- ・手を洗わないうちにウイルスの侵入経路となる口、鼻や目を絶対に触らない。

3 練習環境の整備について

◎校舎内での練習では換気を徹底する。

- ・空気の流れに着目し、空気が一定時間で入れ替わることを確認する。可能な限り2方向の窓を同時に開けて換気する。
- ・窓のない部屋では練習しない。
- ・休憩を多く取り入れ、少なくとも30分に1回は換気時間を設ける。

◎身体的距離を確保する。

- ・屋内、屋外練習いずれにしても、人と人の距離を取り（最低1m）密集、密接を避ける。
- ・部屋の大きさや換気状態を考慮し、部屋ごとに入れる最大人数を予め決めておく。
- ・合奏を行う場合は、可能な限り、より広いスペース（体育館フロア等）を活用する。
- ・合奏場では、必要に応じて、アクリル板（透明シート）を準備する（フルートの前等）。

◎練習で使用した教室、音楽室、準備室の共用部分（ドアノブ、机、イス、電気のスイッチなど）の消毒は練習終了後、顧問が責任を持って確認する。

4 普段の練習について

◎パート練習、セクション練習、全体合奏それぞれ1回あたりの上限時間を1時間程度とする。

- ・同一グループが、同一の場所で1時間以上連続しての練習を行わない（常時換気を行っている場合も含む）。

◎物品の共用は行わない

- ・楽器やマウスピース、譜面台の共用は行わない。

◎楽器を共有せざるを得ない打楽器は、楽器やマレット、スティックを傷めない範囲で消毒を行う。

◎セッティング終了時、楽器搬入・搬出作業終了後、練習後の片付け等、共有物に触れた後は手指の消毒を行う。

◎対面での練習は行わず、十分な距離をとって基本的に「横並び」で行う。

◎楽器演奏時以外は必ずマスクを着用する。マスクについては専門家の意見を基に不織布マスクを着用することが望ましい。

- ・管楽器以外（打楽器、コントラバスなど）の演奏者は練習時もマスクを着用する。
- ・演奏時以外はすばやくマスクを着用し、合奏中のパート指導や個人指導の際に待機する場合などは、短時間でもマスクを着用する。

◎マスクを着用していない時は、会話、返事、挨拶は行わない。

◎管体にたまるツバの処理に特に注意し、各自処理を徹底する。

- ・金管楽器のツバの処理は、飛散防止のため、低い位置で丁寧に行い、処理後は手指の消毒を行う。
- ・金管は各自ハンドタオルを用意し、（ビニール袋に入れるなど）他の人が触れないよう各自で管理の上、毎日洗って清潔にする。
- ・使い捨て吸水シートを利用してもよい。
- ・木管楽器のツバの処理については、スワブを頻繁に通し、床に垂れないように配慮する。処理後は手指の消毒を行う。
- ・木管のスワブも定期的に洗う。

- ◎飛沫飛散があるマウスピース練習は行わないか、行う場合は周りに誰もいない時に限る。
- ◎ミーティング、休憩時間、練習開始前・終了後等、演奏時以外についても部員同士の身体的距離を確保し、身体接触にも特に注意する。
- ◎指揮、指導の際には、必ずフェイスシールドかマスクを着用する。

[さいごに]

新型コロナウイルス感染症は、無症状・軽症者が全体の9割を占めます。軽い症状でも、感染している可能性があり、無症状・軽症者からも感染します。そのため、基本誰もが感染者であるとの前提で、日々の学校活動および部活動を進めなければなりません。

吹奏楽部の活動はこれまで、屋内で長時間、多人数での合奏が主でしたが、少数の分奏を核とした形への転換を進めていただいています。吹奏楽部員全員の健康・安全のためにも、学校における文化活動の今後の発展のためにも、部員・顧問・指導者それぞれが工夫して、短時間で効果的な吹奏楽部の新しい活動形態を築いていかなければなりません。感染防止に配慮した部活動の運営にご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。